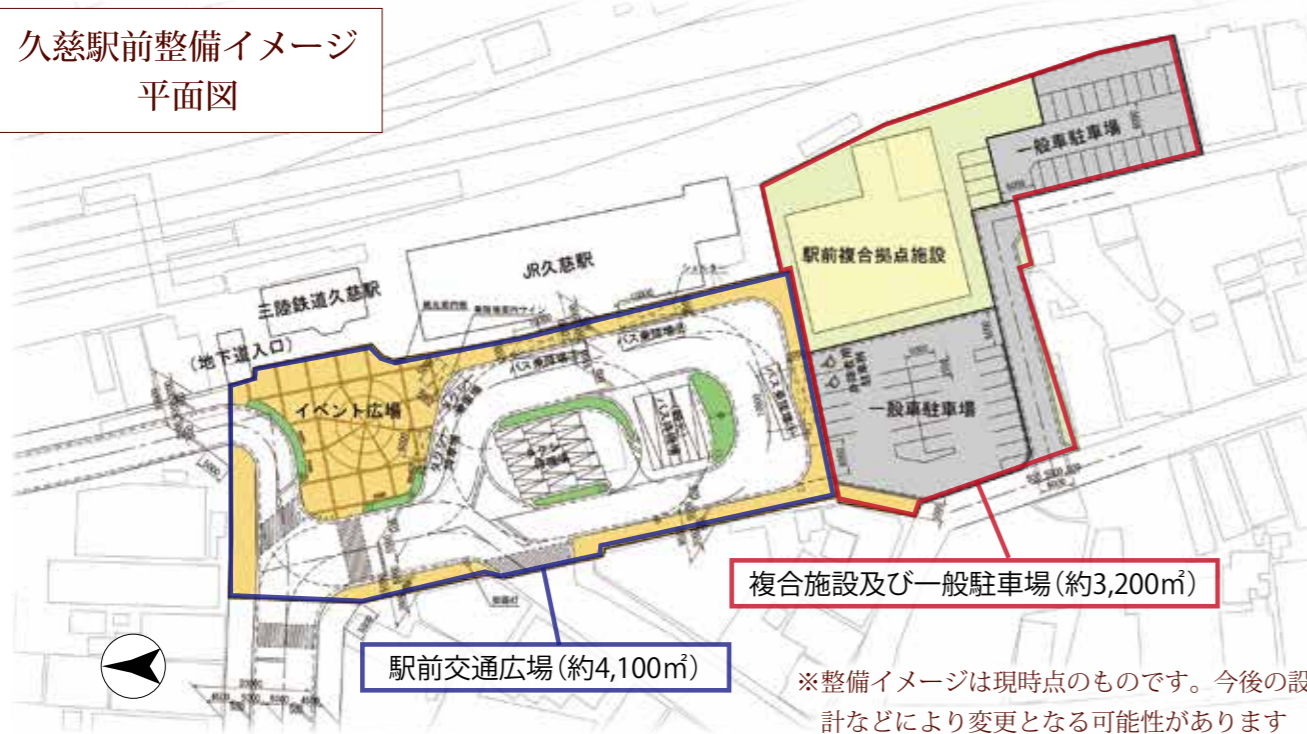


■主な変更箇所

事業名	変更前	変更後
市道久慈駅西口線	整備延長= 70.5 m	取り止め
市道久慈駅前通り線	整備延長= 62.0 m	取り止め
市道市場通り線	整備延長= 140.5 m	整備延長= 47.5 m (一部付け替え)
駅前広場	イベント広場 (駅南側に新設) 観光バス待機場5台	イベント広場 (いづくし広場を改修) 観光バス待機場3台
久慈駅前駐輪場	整備面積= 250㎡	複合施設敷地内に整備
複合施設	整備面積=約 2,020㎡ (駅北側)	整備面積=約 2,300㎡ (駅南側)



久慈駅前整備イメージ
平面図



久慈駅前が 変わります！

市街地活性化推進課 ☎ 52-1525

第2期中心市街地活性化基本計画の核となる「久慈駅前整備事業」。より多くの市民の声を反映した計画とするため、平成26年度から見直しを行ってきました。市民アンケートやワークショップで出された意見などを参考にまとめられた、新たな計画の内容をお知らせします。

■計画変更の概要

柱となる複合施設整備、駅前広場整備の2事業は、見直し前の当初計画（以下、当初計画）と同様に実施します。整備の内容は、ワークショップ等で出された意見や東日本大震災以降の資材高騰による事業費への影響などを考慮し、次のとおりに変更します。

【複合施設】

図書館・地域交流センター・観光交流センター・民間店舗から構成される複合施設を建設します。当初計画からの大きな変更点は、①図書館が分館から全館移転となったこと②民間店舗が入ったことです。

また、施設の位置は、将来的に中心市街地と川崎町を結ぶ道路整備（東西交通）を行う可能性を考慮し、駅北側から駅南側に変更しました。駐車場は、複合施設の利用者に限らず利用できる一般駐車場とする予定です。

複合施設の整備にあたっては、提供するサービスの向上や事業費の節減のため、PFIなど民間のノウハウを生かす手法の導入を検討しています。

※PFI：Private Finance Initiative（PFI）
公共施設の設計や建設、運営、維持管理に民間の資金や経営ノウハウを活用し、民間主導で効率的・効果的な公共サービスの提供を図る手法

①の図書館は、幅広い年代が集まる集客力を駅前の活性化に生かすこと、本館と別に分館を設置した場合に施設管理の負担増につながることから、全館移転としました。また、これまでの図書館のイメージに捉われない「にぎわい創

出の拠点」とするため、集会や講座などに使える地域交流センターと一体的な運営をしていく予定です。

②の民間店舗は、駅前になく市民からの要望も多かったコンビニや、休憩場となる喫茶店を候補に検討していきます。

【駅前広場】

バスやタクシー乗場を備えた交通広場（ロタリー）とイベント広場から構成されます。当初計画では、駅南側へイベント広場を新設する計画でしたが、イベント広場は噴水のある「いづくし広場」を改修し、観光バス待機場は交通広場の中に整備することとしました。

■事業費

全体事業費は、現時点で約19億2400万円を見込んでいます。資材高騰などの影響から、当初計画より約6800万円の増となりました。財源は、国庫補助金が約8億4650万円、市債が約10億2350万円、一般財源が約5400万円となっています。市債は財政的に有利な合併特例債を活用します。

※合併特例債：市債は基本的に市の借金ですが、合併特例債の場合は元利償還金（元金および利子）の70%が後年度に地方交付税として措置されます

■今後のスケジュール

平成28年度から用地取得や転付補償を進め、順次、駅前広場や市道付け替えなどの設計・工事を実施する予定です。交通広場は平成29年度複合施設は平成30年度の完成を目指しています。